

2020年度 都医学研 第2回

都民講座

先着順
締切日必着
(定員500名)

参加費
無料

パーキンソン病を 理解しよう！

基礎研究と臨床研究から得られた最新の知見

日時 2020年 10/1 (木) 講演時間 14:30~16:00 会場 オンライン開催

※新型コロナ感染状況等により、都民講座を中止する場合がございます。
弊所ホームページ (<http://www.igakuken.or.jp/>) をご確認くださいませようお願いいたします。

遺伝性パーキンソン病の発症の鍵を握るミトコンドリア品質管理メカニズム

東京都医学総合研究所 ユビキチンプロジェクト プロジェクトリーダー 松田 憲之

ミトコンドリアはエネルギー合成を担う重要な細胞内の小器官です。一方で有害な活性酸素種の産生源でもあり、細胞にとって諸刃の剣としての性質を持っています。そこで、ミトコンドリアの品質を識別し、機能の低下したミトコンドリアを選択的に除去する仕組みが必要です。

PINK1とParkinは遺伝性パーキンソン病の原因遺伝子産物です。演者らは、『PINK1とParkinが連携して、異常なミトコンドリアを細胞から除去することで、遺伝性パーキンソン病の発症を抑えている』ことを発見しました。本講演では演者らの実験データをもとに、『細胞レベルで見たパーキンソン病の発症機構』を解説したいと思います。

パーキンソン病を理解する～症状から治療まで～

順天堂大学 医学部神経学講座 准教授 波田野 琢

パーキンソン病は原因不明に神経細胞が壊れてしまう神経変性疾患という病気です。特に脳の黒質と呼ばれる神経細胞がダメージを受けるのが特徴です。黒質神経細胞はドパミンという神経伝達物質を作っており、運動や感情を調整しています。そのため、この神経細胞が変性して脱落してしまうことで、動けない、震える、体が固くなるという症状が出てきます。また、運動症状以外に、不安、認知機能障害、睡眠障害なども認めます。最近の研究から、アルファ・シヌクレインという蛋白が凝集し、処理しきれなくなると発病することが判りました。今回は臨床研究から見たパーキンソン病の病態と治療について解説します。

申込方法

先着順(締切日必着) / 件名に第2回都民講座希望と入力、本文に氏名(ふりがな)、電話番号(日中のご連絡先)を入力。

【申込先】 tomin@igakuken.or.jp

- ※無効となる場合がございますので、記入漏れのないようご注意ください。
- ※スマートフォン、携帯電話のメールからお申し込みの場合、受信拒否設定の解除をお願いいたします。
- ※応募メールを送信してから、3営業日以内に弊所からの受付メールが届かない場合は、恐れ入りますが、迷惑メールフォルダをご確認ください。
迷惑メールフォルダにも不着のようでしたら、電話でのご連絡をお願いいたします。

【参加条件】本イベントはウェブ会議システム「Zoom」を使用します。

- 事前に「Zoom」の「ミーティングテスト (<https://zoom.us/test>)」ページにて、アプリのダウンロードと音声の送受信が可能であることをご確認ください。
- ※Zoomが利用できるパソコン等(必須)・ヘッドセット等(任意)は各自でご用意ください。
アプリのダウンロードやパソコン等の設定については弊所ではご案内できませんので、各自でご準備をお願いいたします。

締切日 2020年9月25日(金)